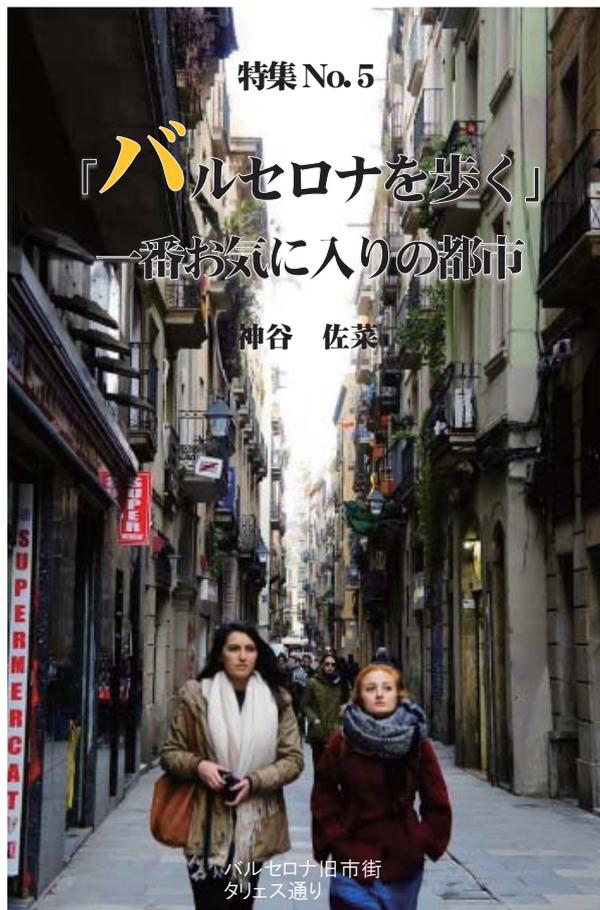




旧市街の隠れたインスタスポット。空き缶ポエムと私。空き缶にはカタルーニャ語で「私はいつもあなたを愛しているし、これからも愛している。」と書いてある。



ランブラス通りにある、サンジョセップ市場



特集 No.5

『バルセロナを歩く』 一番お気に入りの都市

神谷 佐菜

バルセロナ旧市街
タリエス通り

昨年二月に一月と二週間、バルセロナに滞在した。三回目のバルセロナだった。

スペインの街を沢山巡ったが、バルセロナは一番お気に入りの都市である。カタルーニャ語を話すスペイン人に、海と山があり、碁盤目状の新市外と迷路のような旧市街もある。夜になれば、ライトアップされたサグラダファミリアを見ながらパエリアを食べ

てもいいし、朝になれば、焼き立てのフランスパン（ユーロ）を食べて、グエル公園に散歩に行くのも楽しいものである。個人的には旧市街で迷いこんで、地元の人が書いた落書きや空

き缶のポエムを探して写真を撮るのが好きだ。

観光客を嫌う住民たち

バルセロナは魅力的な街である。特にカタルーニャ広場から地中海の間は人で溢れている。

しかし、目にしている人々のほとんどがバルセロナ在住の人々とは限らない。街は人で溢れかえっているが、ほとんどが観光客である。観光スポットであるサン・ジョセップ市場に行けば、買い物を楽しむ住民ではなく、幅広い通路にぎっしりという観光客と見物客の多さにイライラしている店主がいる。観光客増加に伴い値上がりした物価と観光客の多さに地元住民は困っているように感じた。

ジュンバルセロナ (JUMBON)

滞在期間中にツイッターやフェイスブックで大々的に宣伝されているイベントがあった。毎年2月に開催されるジュンバルセロナだ。ジュン（JUN）とはカタルーニャ語で「光」という意味であり、ジュンバルセロナは簡単に言うと光の祭典である。世界で活躍する芸術家や地元の写真家が街中に展示する。昨年は、ポブレノウ地区が選ばれ十五カ所ほど、光のアート作品が展示された。

ポブレノウ地区は、以前工業のイメージが強く、誰も寄り付かなかった地



ジュンバルセロナ 2018 2月

区だが、市はポブレノウの印象を変えようと、テクノロジーの発展と創造的エリアへと変貌させようと頑張っている。そういった背景もあり、今回はポブレノウが会場となったわけだ。会場にはたくさんの人々が集まり、音楽に合わせて色とりどり変わるアート作品に魅了されているようだった。

歩いて感じたこと

歩いていると色々な事に気づく。ベンチが多いとか、新市街地と旧市街の歩道に使われる歩道のタイルのデザインが違うとか。カタルーニャの旗ばかりペラペラに付けてる通りがあって、弾き語りしている人がいて、イベントごとが多くて、移民の多いエリアや人々は芸術が好きなんだと感じるエリアなど、ここには書ききれない。ただ、外から人が集中する程、魅力的な街であることは確かだ。